

たのしい たのしい 船穂校♪

倉敷市立船穂小学校 横山文朗

話す・書く

8つの約束のうち、一つ目の「自分の考えや思いを発表できるようにする。」と「ノートに自分の考えや思いを書けるようにする。」は日々の授業に直結したものであるし、研究テーマ「自分の思いや考えをもち、生き生きと伝え合う子どもの育成」を言い換えたものとも言える。保護者の方からすれば、その取り組みの成果は参観日の時にしか確認できないから、6月25日の参観日には何らかの取り組みをしていただきたいと思う。

話す・書くという活動は、聞くという活動とともに、学習を成立させ学力を高める上で大切なものであるし、主体的な学びや学習意欲が表現される場面も、話す・書く場面だと思う。

平成32年度実施の新学習指導要領の改訂の柱は、アクティブラーニングと英語と道徳の教科化だと伝えられている。アクティブラーニングとは、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びと定義されているが、本校の研究テーマがめざすものと多くの点で重なり合っていると思う。

前回までの改訂の経過をみると、前年度、前々年度が移行期間となり、改訂の柱については、それ以前から先行実施されているから、来年度には、アクティブラーニングによる授業改善が求められる公算が強い。だから、本校の研究テーマをこの視点から見つめ、「話す・書く」活動をアクティブラーニングととらえて研究を進めていくことは、時宜に合っていると思う。

授業研究のトップは塚越先生で、明石美香先生が要請訪問で授業公開をする予定になっている。お二人には、わたしの意図を説明し、提案授業になるようにしてほしいとお願いした。授業の成否だけでなく、お二人の先生の主張点について皆で考えられる授業研究になるとよいなと思っている。

